

[東谷川]

東谷川は河積（川の断面積）が小さく、河川流路も屈曲しているため、浸水被害が発生していることから、下流より河川改修を実施してきたが、東谷橋から笹原橋までの区間も、河積が狭小で河道の線形不良のため、計画流量の4分の1から7分の1程度の流下能力しかない状況である。

このため、河道の拡幅及び線形改良により、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

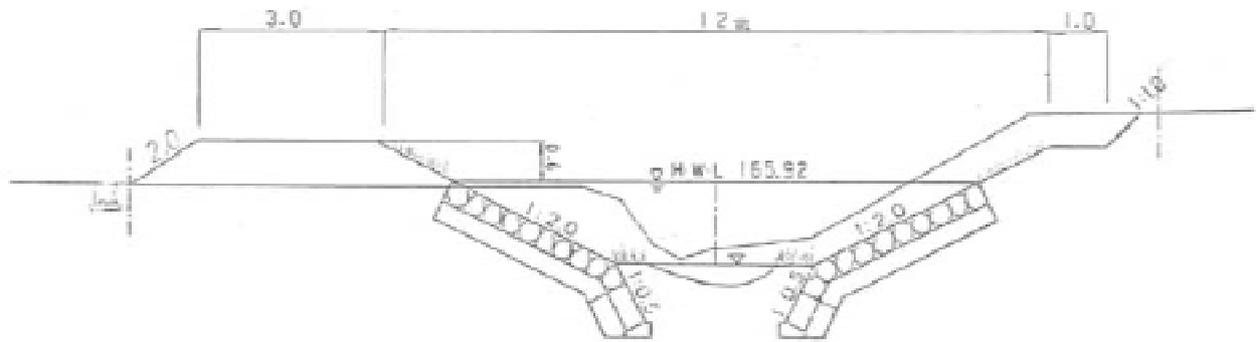
改修にあたっては、自然石等の自然な素材を使用することにより、植生の回復及び保全に努めるとともに、みお筋を整備して自然な水際となるよう工夫する。また、河岸に生えている樹木は、治水計画及び河川管理上支障が無いものは保存する。

施行の場所	東谷橋上流から笹原橋まで
延 長	L = 約 1,000 m
整備の内容	河道掘削、護岸工、築堤工、橋梁架けかえ

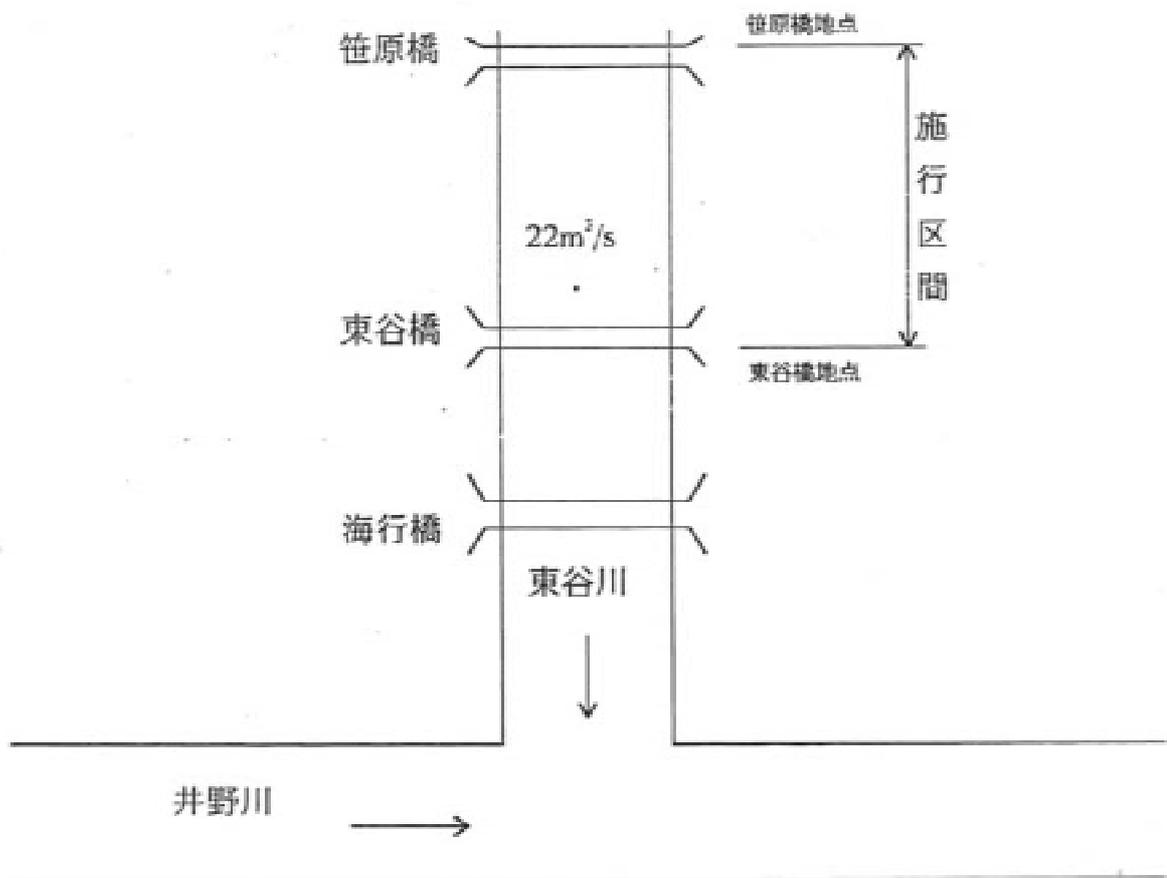


平 面 図（縮尺：1/25,000）

[東谷川]



代表横断図（東谷橋上流50m地点）



計画流量配分図

[染谷川]

染谷川の田中下堰上流から新江橋下流までの区間は、河川流路が直角に屈曲しているため、平成9年の集中豪雨で宅地及び農耕地に浸水被害が発生している。

このため、河道の線形改良により、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

改修にあたっては、地被植物や草類が生え茂るよう工夫したブロック等を使用する。また、右岸側の現河道部の低水護岸は自然石や木杭等により自然な水際となるよう工夫する。

施行の場所	田中下堰上流から新江橋下流まで
延 長	L = 約 250 m
整備の内容	河道掘削、護岸工



平 面 図（縮尺：1/25,000）